

1. 内政

▼フィラト内閣の総辞職後の動き

- ・1日、自由党は、党代表者会議においてフィラト首相代行が首相候補となった場合、同候補を支持しない旨決定。
- ・3日、ティモフティ大統領は、元与党連合AEI各党の党首と首班指名に向けた協議を実施し、協議は終了に近づきつつある旨発言。ルプ議会議長(民主党党首)は、協議後、首班指名より多数派与党の形成が先決である旨発言。ストリレツ自由民主党会派代表は、同党の首相候補はフィラト党首であるとした一方、ギンプ自由党党首は、同党がフィラト首相代行を支持することはない旨改めて表明。
- ・4日、ティモフティ大統領は、共産党による繰上げ総選挙の実施を求める提案を拒否。同日、ヴォローニン共産党党首は、元与党連合AEI各党党首は大統領選出時のように時間稼ぎをしている旨非難。
- ・4日、ルプ議会議長は、新しい与党連合形成に向けた協議は遅くとも12日までに終わらせる必要がある旨発言。
- ・5日、ティモフティ大統領は、更に数日間協議を継続する必要があるとする自由民主党及び民主党による要請を受け、同日予定していた首班指名を延期する旨発言。

2. 経済

▼IMF関係

- ・2日、ミルゾエフIMFモルドバ事務所長は、4月末で終了する現在プログラムのレビューを行うためのIMFミッションはモルドバには来ない可能性が高いであろう、しかしながらIMFは現在の状況下(権限が制限された政府がモルドバのコミットメントに矛盾するいくつかの決定事項を承認)での訪問の可能性について協議を行っている旨発言。

3. 外政

- ・31日、ルーマニア・エネルギー規制局は、同国からEU諸国及びモルドバへの天然ガスの輸出を許可する決定をした旨発表。
- ・3日、モルドバガスは、2012年のロシアからの天然ガス購入価格が対前年比16.1%増の393.97ドル/千立方メートルであった旨発表。

4. 沿ドニエストル

- ・3日、モルドバ政府は、国家再統合に向けた2013年行動計画を承認。沿ドニエストル紛争地域の「安全地帯」の社会・経済状況改善のために1,050万レイ(約8,000万円)を配分。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)